

教材・教具名	簡易ライダーチェアー
対象児童生徒	体位のとれる児童生徒
制作のねらい	・ 様々な姿勢変換を行う中に、ライダーチェアーを使用することがあるが、家庭で使用していることが多いために学校で利用することが難しい。そこで、学校でもライダーチェアーを使用したときのような姿勢保持ができるように教具の制作を考えた。 ・ 本来ライダーチェアーは、それぞれの体型に合わせて制作してあるが、一人に限らずクッションなどの補助具を利用することで、複数の児童生徒が使用することができるようにした。
使用法 及び 効 果	(使用法) ・ 基本的な姿勢をとった後に、クッションやタオルなどを利用し、それぞれの体型にあった姿勢をとるようにする。 (効果) ・ 上体を起こすことで視界を確保することができる。また、手指操作がしやすい。 ・ 呼吸動作の安定がみられる。
作り方	(土台部分) 1 適当な高さを決めて、鉄製パイプをジョイントさせ足部分を作る。 2 天板でけがをしないように角をなめらかに削る。 3 足部分と天板をくっつける。 (クッション部分) 1 ほどよい堅さのクッション素材を取り寄せる。 2 腹部の接する面にRをつけるために、カッター等で削る。 3 布カバーでクッションを覆う。(現在、調整段階のためにカバーは、まだ付けていません。)
使用に際しての留意点・その他	・ ベルトなどの体を固定するものがないので、必ず背中側から支援し、安全面に配慮するようにする。 ・ 腹部、膝、臀部などのクッションに接する面に負荷がかかりすぎないように調整する。
教材・教具写真	教材・教具写真 (土台部分)  (クッション部分)  (組み合わせた状態) 

教材あるいは教具を使用している様子



基本姿勢



制作活動



絵本読み



手指操作